

▽取組事例名	アセットマネジメントの導入による適正な公共施設の管理	▽取組期間	平成17年度～ (継続中)
		▽市町名	新居浜市

▽取組概要
<p>アセットマネジメントとは、長期的かつ経営的な視点で、公共施設を管理・活用・処分する取り組み。具体的には将来的な施設の老朽度合いや発生する維持管理費用を予測し、その予測に立って、計画的に施設の修繕（予防保全）、改修、処分、統廃合を行う。</p>

▽取組みの背景
<p>■市有施設の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化の進行 (築30年以上経過した建築物が全体の54%を占める。) 多額の将来更新費用 (約10年後から急増、2030年には単年で140億円、今後30年間で1,287億円) <p>■財政状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 低迷する経済情勢、人口減少、少子高齢化の進行により、厳しさを増す財政状況。 <p>■社会状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市人口は2030年には10万人を割る予測。特に生産年齢人口激減。

▽取組みの狙い・具体的内容
<p>(取組みの狙い)</p> <p>アセットマネジメントを効果的に推進し、施設の長寿命化、更新費用の平準化・低減、施設の統廃合に取り組むことにより、これまでに蓄積してきた公共施設を良質な資産として、次の世代に引き継ぎ、次世代の財政負担を軽減する。</p> <hr/> <p>(具体的内容)</p> <p>(1) 都市基盤分野の公共施設（土木施設）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設ごとに長寿命化計画を策定し、計画に基づく維持管理を実施する。 (社会資本整備総合交付金等を活用) <p>(2) (1)以外の公共建築物</p> <ul style="list-style-type: none"> 保全情報システム（BIMMS）の導入（施設情報を一元化・共有化する。) 施設ごとに中長期保全計画を策定（施設を長寿命化し、更新費用を平準化するための計画策定） 公共施設白書の作成（既存施設の有効活用や統廃合を検討するための基礎資料として作成）

▽取組を進めていくなかでの課題・問題点（苦労した点）
<p>更新費用が増嵩する時期が、10年後からと、たちまち差し迫った状況にないため、職員の問題意識の醸成、アセットマネジメントの必要性に対する理解を深めることに苦労した。</p>

☆工夫した点

- ・庁内推進体制の構築
継続的な庁内検討会での議論
- ・予算編成部局との連携
基金の活用による計画的な予算編成
- ・職員意識改革の推進
庁内検討会や説明会（管理職対象、施設担当課対象）を開催し、時間をかけて職員間で問題意識を共有

▽取り組みの効果

計画的な予防保全を実施することにより、施設をより長く使用することを目標としており、一般的な施設の耐用年数50年で建て替えした場合と比較して、今後30年間で484億円の更新費用削減を見込んでいる。

別途、予防保全費用が発生するが、長期的な効果は非常に大きいと考えている。

（今後の取り組み予定）

- 平成23年度
 - ・「新居浜市アセットマネジメント推進基本方針」策定
 - ・施設保全情報システム（BIMMS）導入
- 平成24年度
 - ・「中長期保全計画」「公共施設白書」作成
- 平成25年度～
 - ・中長期保全計画に基づく予防保全工事開始（予算計上）

▽住民（職員）の反応・評価

- 説明会や基本方針の公表により職員の問題意識は高まっており、特に施設担当課職員は協力的である。
- 住民に対しては、「新居浜市アセットマネジメント推進基本方針」をホームページに公表しており、今後、「公共施設白書」の作成とあわせて、広報誌やホームページを通して、新居浜市の公共施設の状況を広く周知したい。

☆取り組み効果を踏まえたフォローアップ

「中長期保全計画」については、施設ごとの劣化状況や修繕実績を踏まえ、毎年見直しを実施する。

☆将来的な構想のほか、他団体へのアドバイス

（将来的な構想）

新居浜市のアセットマネジメントの取り組みは、大きく2つある。

①約10年後から徐々に増加し、2030年にそのピークを迎えることが予想される既存施設の更新費用を抑え、現在ある施設を可能な限り長く使用するため、施設の寿命に直結する主要な部位については計画的な予防保全を実施していく。（平成25年度～）

②「公共施設白書」を作成し、施設の利用状況、維持管理費用、老朽度等についてのデータを、市民にわかりやすい形でまとめ、公表することにより、限られた財源の中での施設間の優先度、将来的な施設の必要性、施設の統廃合等について、議論を深めていきたい。（平成24年度～）

（他団体へのアドバイス）

新居浜市において、アセットマネジメントの導入について検討をはじめた平成17年度の時点においては、公共施設の情報について、担当課ごとに保管しており、全庁的な統一されたものがなく、施設間の比較ができない状況にあり、平成23年度に保全情報システム（BIMMS）を導入することにより、データを整理し、一元化することができた。

まずは、施設データを一元化し、施設の全体総量、将来更新費用を把握することにより、問題が明確になる。この作業は、全庁的な協力が不可欠で、時間を要するが、避けては通れない作業であると考えている。